

経営比較分析表（平成29年度決算）

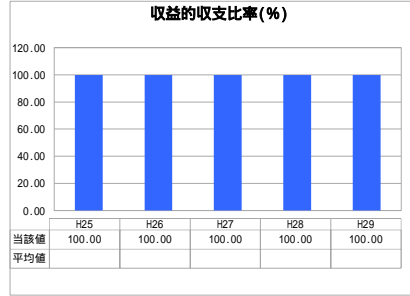
高知県 四万十町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	簡易排水	J2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.07	88.89	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,528	642.30	27.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13	0.01	1,300.00

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



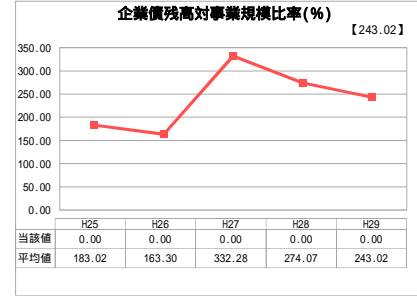
「単年度の収支」



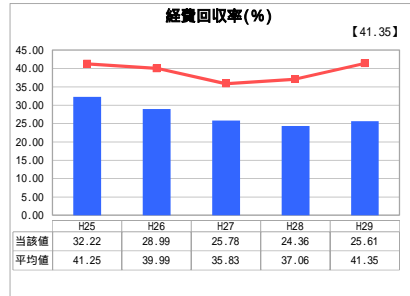
「累積欠損」



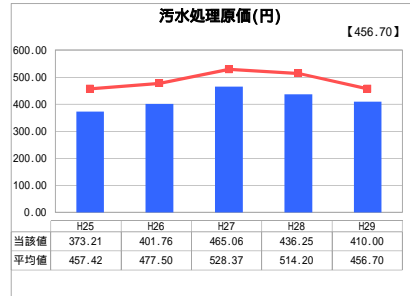
「支払能力」



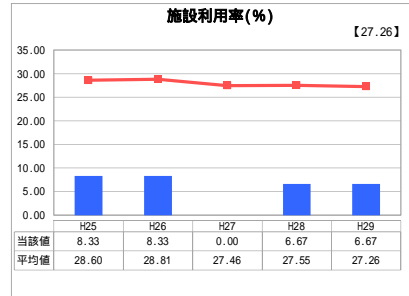
「債務残高」



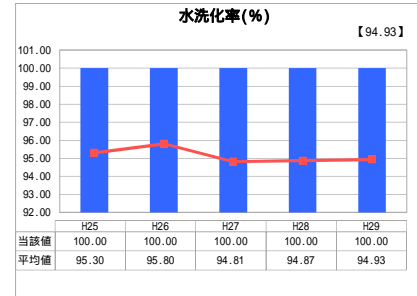
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

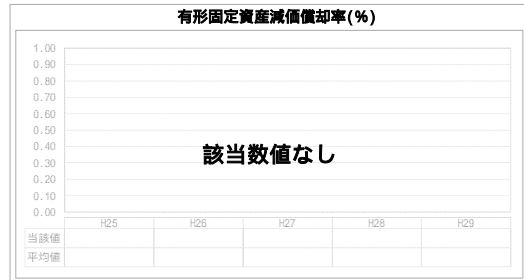


「施設の効率性」

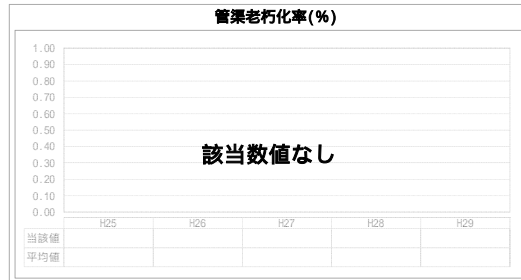


「使用料対象の捕捉」

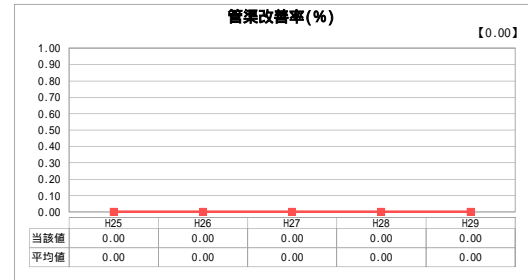
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

四万十町の簡易排水施設は処理施設および管路ともに整備済みである。
現在の主な支出は維持管理費用が主となっている。
経費回収率、汚水処理原価及び施設利用率は供用開始当初から低値のまま推移しており類似団体平均と比べ低い。維持管理費用は一定に推移しているが、今後は使用人数の減少が予想され使用料収入も減少傾向にあり、収支不足を他会計繰入金に依存せざるを得ない状況にある。
なお、施設利用率(%)の27年度当該値については、データ・グラフには反映されていないが6.67になり、使用人数の減少とともに低下している。

2. 老朽化の状況について

森ヶ内地区は平成7年より供用しているが、施設設備が簡易なことから、高額な修繕等は発生していない。
現在、定期検査等の実施と適正な維持管理を行い安定した稼働をしている。

全体総括

使用人数が極めて少ないため、経営的には厳しいが、水環境保全のため今後も適切な維持管理を実施し、処理施設の長寿命化を図っていく。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。